

# 高齢者自立支援のための俳句を利用した対話システム開発

■ 情報工学部 情報工学科 教授 馬場 謙介

○ 研究分野：データサイエンス

○ キーワード：介護支援、俳句、感情推定、データサイエンス、人工知能

## I 研究概要

本研究では、**高齢者が精神的に充実した生活を送るための補助を行う技術の開発**を目指す。高齢者が介護を必要とせず、自立して人間的に充実した生活を送るには、会話や創作などの精神的な活動が重要となる。身体的な活動については、必要な知識や技術が体系化され、補助のための器具や先端技術に基づいたロボットも開発が進んでいる。これに対し、精神的な活動については、高齢者自身のパーソナリティや周囲の工夫に頼る部分が多い。高齢者の精神的活動を補助することができれば、介護を予防することに加え、高齢者の生活の質の向上が期待できる。

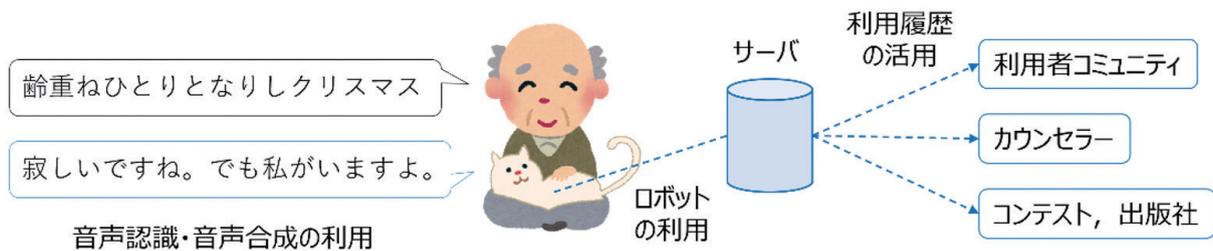


鐘響く門前町の吊るし柿

柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺  
という句があります。



本研究では、具体的に、**利用者の心情を考慮できる対話システムの開発**を行う。このシステムでの心情の定式化では、俳句に詠まれた情景を用いる。俳人による情景の分類と大量の俳句データでの語句の出現の統計解析により、語に関連する心情をベクトル値として定量化する。これによって、対話システムは入力文の心情を推定し、出力文に用いる語の選択を行う。対話の内容を心情を考慮したものにすることで、文芸創作などの知的欲求まで満たし、豊かな精神活動を実現する。このシステムが実現できれば、歩行支援ロボットなどが身体的労力の削減をするように、高齢者との対話による精神的労力の削減が実現できる。



## I 利点特徴

- ・ 俳人・俳句結社の協力による、文芸に関する監修
- ・ 大規模コンテスト主催団体の協力による、大量の俳句データ

## I 応用分野

高齢者の見守り、文書や発話からの感情認識

